

平成29年度 教育部 学校教育担当部長の目標宣言 達成状況報告

教育部 学校教育担当部長 大高 敏夫

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	健康な食生活をめざした食育の推進  (学校教育課)	・児童生徒に対し、栄養バランスのとれた食生活を促し、望ましい食習慣を形成するよう、発達の段階に応じた食育を推進します。また、市内中学校における給食導入に向け、様々な手法を検討します。	・地場産物を生産者から直接納入して使用する学校数 小学校 10校 ・食に関する授業および骨密度測定を実施する学校数 中学校 4校	・地場産物を市内生産者から直接納入して学校給食に使用しました。 ・中学校における食に関する授業および骨密度測定を実施しました。 [今後の取組の方向性] ・児童生徒に対し、望ましい食習慣を形成するよう、発達の段階に応じた食育を推進します。中学校における給食について円滑な導入に向け、取り組んでいきます。	[実績値] ・地場産物を生産者から直接納入して使用する学校数 小学校 10校 ・食に関する授業および骨密度測定を実施する学校数 中学校 4校
2	学習指導体制の充実  (教育指導課)	・小学校低学年における35人学級編制への対応などや、基本的な生活習慣の定着、学力の向上を図るため、非常勤講師及び指導補助員を継続して配置します。	・小学校 非常勤講師 2人 指導補助員11人 ・中学校 指導補助員 5人	・非常勤講師及び指導補助員を配置し、基本的な生活習慣の定着、学力の向上を図るため、きめ細やかな指導の充実に努めました。 [今後の取組の方向性] ・学校現場の状況を把握しながら、今後も非常勤講師及び指導補助員を継続して配置します。	[実績値] ・小学校 非常勤講師 2人 指導補助員11人 ・中学校 指導補助員 5人
3	教育相談体制の充実  (教育センター)	・スクールカウンセラー及び教育相談員の配置により、支援を必要とする児童生徒や保護者の相談に応じます。また、児童生徒への支援のために、学校との連携を図ります。	・小学校スクールカウンセラーによる相談回数 2,400回	・スクールカウンセラー及び教育相談員を配置し、支援を必要とする児童生徒や保護者の相談に応じ、課題の改善と、問題の深刻化・複雑化を防ぐ効果を上げています。配置日数を増やしたことにより、従前より迅速な対応ができてきた。 [今後の取組の方向性] ・引き続き児童生徒の健やかな成長を支援するため、学校と連携しながら教育相談の充実を図ります。	[実績値] ・小学校スクールカウンセラーによる相談回数 2,298回